

# 【広島県地域保健対策協議会調査研究報告 (平成14年度)】

## 広島県におけるアトピー性皮膚炎患者に関する 実態調査(第3報) 年齢別有症率調査

出典	広島医学(0367-5904)56巻12号 Page790-795(2003.12) ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004118866">http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004118866</a> )
著者	秀道広 他
調査地域	広島県
調査時期	2002年
調査対象	4ヶ月、7歳、12歳、18歳
依頼数	4ヶ月：439人、7歳：1089人、12歳：1055人、18歳：2590人
回収率	100%
有効回答率	100%
診断方法	医師による診察
有症率	4ヶ月：11.6% 7歳：10.9% 12歳：13.3% 18歳：9.2%
調査概要	広島市安佐南区の4ヶ月児、郡部の小学1年生、6年生、広島大学新入生のAD疫学調査をした。広島県全体では、全年代を通じて有症率は10%程度で、年齢増加による有症率の低下はみられなかった。